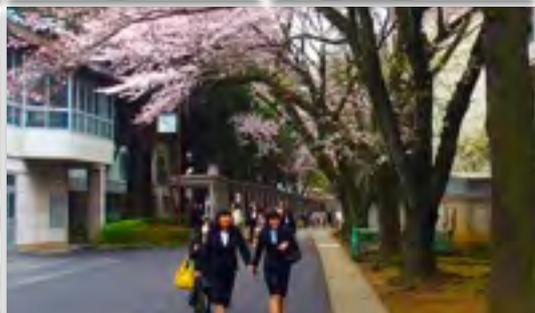


月歩学歩

“月日を歩き、学んで歩く” 明徳の「今」を伝える月刊誌「げっぼがっぼ」

新年度 発進発信

4月2日、明徳は47回生となる新入生144名を迎えて新年度を発進しました。入学式では、新入生一人ひとりが明徳で達成したい「決意」を表明する「決意表明」を行いました。これはここ数年、毎年行われています。なぜなら、明徳では一人ひとりが自分の考えを人に伝え、皆で共有することを大切にしているからです。緊張もあったかと思いますが、新入生は皆堂々と今の思いを表明していました。さて、この「月歩学歩」は、今年度も明徳の生き生きとした「今」を伝えるべく、親しみやすく読みやすい冊子を目指す決意を胸に発信です。さらに、学生を中心とした、明徳に集う人々の「声」もお届けしたいと思っています。今年度初となる第1号は、年度始めを迎えた明徳のフレッシュな「今」をお届けします。



入学式を支える人たち

教職員と新2年生が細やかにこの式を支えました。陰日向となって動く人たちがいてこそ成り立つ式ですね！



明德・取材許可証
2年 鍛田春華

入学式の手伝いを行いました、どんな新入生がいるのかなと楽しみでした。自分の1年前も振り返りました。そして、あの日、夢に向かって歩き出した感じで、とてもうきうきしていたことを思い出しました。

入学して頑張りたいことを書く決意表明のカードを持って話す新入生を見て、ピアノを頑張りたいという人が多く、先生は優しく教えてくれるから大丈夫だよと心の中で思っていました。2年はあっという間なので、1日1日を大切に頑張りたいと思いました。(鍛田 春華)

入学式前、新入生は、駅から会場まで仲間と話したりして楽しそうな様子が見られました。式中は時々不安そうな表情もありましたが、スタートアップカレッジがあったおかげか、これからの期待に満ちた顔をしているように見えました。新入生の決意表明では、私は、新入生に決意を書いた紙を渡す役でした。その時、新入生の手が震えていることに気づきましたが、壇上にとくとくと発表して、皆堂々と発表していました。これからこの1年生とたくさんかわっていったら楽しそうだと思います。(岩井 凜)

明德・取材許可証
2年 岩井凜

平成28年度 千葉明德短期大学入学式

歓迎の演奏

1. 「白雪姫メドレー」 森田 優夏 山田 真知子 (ピアノ連弾)
2. 「千本桜」 鈴木 彩香 (ピアノ)

式次第

1. 開式の辞
2. 学長式辞 学長 金子 重紀
3. 理事長挨拶 理事長 福中 儀明
4. 来賓紹介
5. 歓迎のことば 杉本 拓海
6. 新入生のことば 國吉 桃花
7. 校歌斉唱 ピアノ 日下部 香織
8. 閉式の辞



学長式辞

かねこしげのり
金子重紀



新入生のみなさん入学おめでとう。また、保護者のみなさん、おめでとうございませう。私が言うのもなんですが、いい短大に入りましたね。

新入生のみなさんは、これから2年間、この学園で過ごすことになるにせう。その2年は、みなさんが社会という大海原に一人一人が乗り出すための準備の期間です。

海に例えたのには理由があります。これから出ていく社会は、決して決められた道があるわけではないからです。陸上の道路のように、この道を進めばゴールにつくというものではないからです。

これまでの学校生活はどうだったでしょう。

みなさんの中で、数学が嫌いだった人、歴史が嫌いだった人、手を挙げてみてください。でもそれは過去のこと、一つの答えを求められてきた高校までのことです。これからは、いくつもの進路、答えがあるのです。

千葉明德短期大学は、保育創造学科の単科大学です。なぜ、創造なのでしょう。ホームページには、

子どもの育ちは誰一人同じではありません。こどもの理解とそのかわりに、一つの答えはありません。保育は創造的な営みです。

と書かれています。

この中の多くの方が、卒業するとき保育者としてあるいは幼稚園教諭として現場に出ることになります。その時に、答えは一つではないといっています。むしろ答えはたくさんあるかもしれません。でも、答えがないことではないのです。それが創造することです。これからは、自分たちで創造しながら自分なりの答えを見つけることが学ぶということにせう。

もちろん、海に乗り出すには、舟が必要です。乗り出せる舟を作ることは、基礎を身につけることです。しっかりと基礎を身に付けてください。舟がしっかりできていないと大海原で沈んでしまいます。

舟ができれば、次に進むべき進路を判断する力が必要です。この時に創造する力が必要です。自分なりに答えを見つけていくことが大切になります。そのための力をつけることが学ぶということです。

また、みなさんが保育者あるいは幼稚園教諭として仕事をしていく時、一人ではありません。話し合う力、協力し合う力が必要になります。その基礎は、学び合う力です。短大の仲間とともに、教職員とともに学び合う力を育ててください。

そして、実習。実習は、海に出てみることです。最初は少しずつ、2年生になると責任実習という形で自ら舟をこぎだしてやることになります。千葉明德短期大学という港に戻り、どんな海だったか、どんな波が来たか、教員や仲間とその体験を話し合ってみる、体験をまとめてみることで、学ぶ力、学び合う力はもっと豊かになるでしょう。

もう一つ、大海原に乗り出すには、その海を知らなければなりません。どんな海に漕ぎ出していくのかを知る必要があります。それは、社会を知ること、学ぶことです。社会といっても高校までの1つの答えを求められた教科としての社会とは違います。みなさん自身の目で社会を見て、感じ考えることです。

いろいろ言いました。ようするに、2年間という時間の中で、社会という大海原に出る前に、しっかり自分の舟を作り、社会という海を知り、どこへどう漕ぎ出すかを判断する力をつけて欲しいということです。

最後に、私たちには、みなさんが社会という大海原に出る前に伝えたいたくさんの思いがあります。私たち千葉明德短期大学の教職員一人一人がその思いを持っています。そして、その思いを伝えるためには、皆さんの思いを受け止めて初めてできることです。そうでなければ、私たちの一方的な思いになってしまうからです。ですから、みなさんも私たち教職員に対して、みなさんの感じたこと、考えたこと、悩んでいること、みなさんの中にある思いをたくさん伝えてください。必ず、誰かが受け止めてくれるはずです。

私たちの思い、みなさんの思いを伝えあいながら、2年間の学生生活を充実したものにしていきましょう。そして、みなさんが社会という海に出た後も、行くべき進路が見えなくなったとき、嵐が来たときに、千葉明德短期大学が戻ってくることでできる港になってくれることを願っています。

以上をもって、式辞とさせていただきます。

理事長挨拶

ふくなかよしあき
福中 儀明



144名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。またご家族の皆様方、おめでとうございます。

本学は1970年に創立されました。皆さんは第47回の入学生になります。

新しい出発という、このよき日、まず最初に本校の名前「明德」の由来について説明させていただきます。

今から約2000年昔に書かれた中国の古典「大学」の中に「明德」という言葉が出てきます。「大学」といっても高校に続く大学のことではありません。「小学」に対する「大学」の意味です。「小学」といっても小学校のことではなく、「小さな学問」いわゆる、よみ・かき・そろばん、といった個人が生きていくために必要な身の回りの基礎的な学問——これが小学です。

一方、大学は小学よりもっとレベルの高い大きな学問——自分が生きるためではなく、世のため、人のためになる学問を意味します。

「大学」を究めるためにはどうしたらよいのか？この本の中には次のように書いてあります。——「大学の道は明德を明らかにするにあり」

「明德」とは人が天から得たすぐれた能力、人間として生まれながらに持っている人間性であり、明德を明らかにする、とはそれを輝かせる、ということです。

さらに続く一節には、「明德を明らかにせんと欲する者は先ずその知を致す。」とあります。明德を明らかにするためには、まず知恵と知識を身につけ知性を究める。そうすれば善悪の判断ができるようになり、心が正しく豊かになる——ということです。

本学は小さな組織ですが中身は豊富に詰まっています。同じキャンパス内には附属幼稚園があり、こども臨床研究所があります。学校附属としては千葉県内最初の明德本八幡駅保育園があり、さらに2番目の駅型保育園である明德浜野駅保育園もあります。姉妹法人である社会福祉法人千葉明德会の明德土気保育園もあります。3年前には千葉明德会の二番目の保育園として習志野市内に明德そでの保育園も開園しました。そして去年の4月には子供子育て支援新制度が発足し、それに合わせて県内八街市に明德やちまたこども園も開園しました。

ですから皆さんはきょうから本学の学生になっただけではありません。入学と同時に幼稚園や保育園やこども園の研修スタッフになったと考えていただいたほうがよいでしょう。明德という総合・保育創造組織の一員に加わったのです。

皆さんのこれからの学びと活躍に期待し、理事長よりの祝辞と致します。



新入生のことば

くによし ももか
國吉 桃花



本日は私たち新入生のために、このような盛大な式を挙げて頂き誠にありがとうございます。暖かい春の日差しに包まれ、私たちはこの伝統ある千葉明德短期大学に入学する日を迎えました。新しい環境と、仲間となっていく新入生たちとの短大生活に、期待や希望に胸を大きく膨らませています。

これからの千葉明德短期大学での2年間は、自分の将来の職業、自分がしたい事についての勉強ができるという大切な時間です。この学校の特色は、系列園としてたくさんの保育園や幼稚園、こども園があるので、そこにボランティアや遊びにも行く事ができ、こどもたちと触れ合う時間が他の学校に比べ多いところです。園にたくさん遊びに行きこどもたちと触れ合う事で、実際に実習に行った時に、どうしたらこどもたちが喜んで遊んでくれるかを考える事ができると思います。また、入学試験の面接時、この学校は、自分で考え行動を起こすことで行事やサークルが開催されると聞きました。私はテニスが好きなので、軟式のテニスサークルを作るなど、やりたい事をたくさんしたいと思っています。

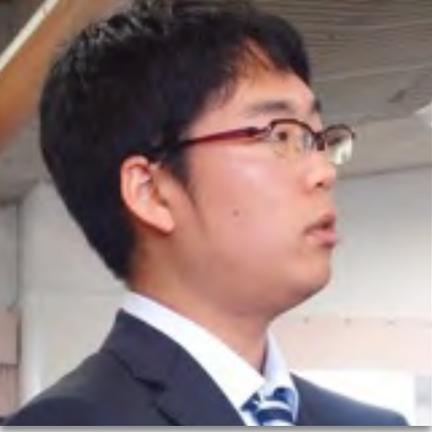
このように、私たちは勉学に励み、サークルに入るなどし、充実した短大生活を送ろうとしています。

さらに、私たちには、自分がどういう保育士になりたいかという目標があると思います。私の目標は、自分自身がこどもたちのお手本となり、保護者の方からもこどもたちからも信頼される保育士になることです。それらは勉強して身につくものではなく、こどもたちと触れ合って身につくものだと思います。そのため、色々な保育士の方をよく観察し、その方の良かったと思う所や、困った時やどう対処すれば良いか分からない時に聞いたこと、そうしたことをメモにとって後で読み返したいと思います。そうすることで、色々なことを自分のものにしていくことも大切だと思います。

また、私と同じように保育士を目指している友人が、以前、実習で保育園に行った時に、実習は大変だけれど終わると寂しいと言っていました。その友人は実習が終わる日、こどもたちに「帰るね」と告げると、嘘をついてくるこどもや泣いてしまうこどももいたと言っていました。あるこどもは「お姉さんがいるから園に行くんだ」と言っていたそうです。私も、私がいるから園に行きたいとこどもに言ってもらえるぐらいの保育士になりたいです。

そして、私がこれからの短大生活で1番頑張りたい事はピアノです。今はまだスラスラとは弾けず、楽譜に音符を書き片手ずつでしか弾けませんが、この学校にはピアノを自主練習するところがたくさんあるので、授業を受ける前や受けた後、ちょっとした時間に練習をしに行けたらと思っています。卒業する時にはピアノを弾きながら歌えるぐらい上手になりたいです！！

終わりになりますが、これからお世話になります先生方、仲間となっていく新入生たちと共に、充実した短大生活を送りたいと思います。



歓迎のことば

すぎもと たくみ

杉本 拓海



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新たに短大生としての学校生活が始まり、不安や期待など様々な思いを抱えていることと思います。どんな思いを抱えて過ごしていても、一年生としての1年間は、きっととても早く終わってしまうと思います。なので、新入生の皆さんには、充実した1年間を過ごしていただきたいと思います。私も1年前は、不安でいっぱいでした。そんな自分が、新入生の皆さんの前で、お話をさせていただく日が来るとは思っていませんでした。こんなことを言うと、多くの方々は、高校の時から、バリバリやっていたのだらうと思うかもしれません。私は1年前、そう思いながら先輩の歓迎の言葉を聞いてみました。けれど私はこの短大に来て変わることができました。

高校までの自分は、できるだけ目立たないように、できるだけ大人しく日々の生活を送っていました。なので、短大に入ったら、行事かボランティアに積極的に参加しようと思っていました。中でも、私が一番多く参加したのは、オープンキャンパスのスタッフとしてのボランティアです。スタッフとして高校生や保護者の方々とかかわるには、積極的にコミュニケーションをとることが必要となります。しかし、最初は先輩方の姿を後ろから見ていただけでした。先輩方の笑顔で高校生とかかわっている姿を見て、感動したのを今でも覚えています。自分もいつかこうなっていかなければいけないとその時強く思いました。それから私は月1回行われるオープンキャンパスにたくさん参加しました。私がオープンキャンパス・スタッフとしての活動で一番印象に残っているのは、キャンパスツアーです。最初の頃は、あらかじめもらっていたマニュアル通りにしか説明ができず、高校生のリアクションや状況を把握することもできないまま、一方的な説明だけで終わってしまいました。しかし、回数を重ねるうちに、高校生の目を見て話せるようになり、高校生がどういうリアクションをしているか、何か質問したいことはあるかなど様子を見たり状況を把握する余裕が持てるようになりました。

私は、「たくさん経験をする」ということが大切だとこの1年間で感じました。オープンキャンパスのボランティアだけではなく、実習でも同じだと思います。実習に対する不安を抱えている方は多いと思いますが、私もとても不安でした。4、5月の保育体験では、初めて子どもたちとかかわることができて子どもたちがとても可愛く感じました。今でもどんなに実習が辛くても、この思いが支えになっています。4月当初はケンカが起きても、一人では戸惑うばかりで、保育者に助けを求めることしかできませんでした。今思うと、あの時何もできなかったという経験も「次はどうしよう」と考えていく出発点となり、今の自分が形成される上でちゃんと基盤にあるんだと感じます。あの時の保育体験をもう一度見ることができたら、きっと感じるものがたくさんあると思います。今、1年間実習を終えて皆さんに伝えたいことは、「多くの実習を経験すると一人一人感じることもあると思いますが、それを一人で抱え込まずに、嬉しいことも辛くなったことも近くの友人や先生と共有してほしい」ということです。

私は実習というのは、個人個人の戦いだと思っていました。しかしそうではないと分かりました。実習先はそれぞれバラバラでも頑張ろうという気持ちは同じだからです。実習が始まると、「部分実習」というものを経験します。これは、実習生が先生になったつもりで、決まった時間の中で何か子どもたちと活動を行うというものです。部分実習をするにあたって「指導案」というものを書きます。これは、実際に子どもたちがどういう動きをして、その行動に対して実習生がどういう声かけをするのか、予想して具体的に記すものです。

あくまで予想ですので、当日、子どもたちがどういう行動をするのかは、当日にならないと分かりません。なので本番前1週間は不安でいっぱいだったのを覚えています。しかし、そんな私を救ってくれたのは友人でした。放課後、夜遅くまで部分実習のシミュレーションを何度も繰り返し行ってくれました。「ここはもうちょっとこうした方が良いと思う」「ここはすごく良いね」などの的確に様々なアドバイスをくれました。また何度もシミュレーションを行ううちに自分でも改善すべき点がいくつか見つかりました。友人が協力してくれたおかげで、幼稚園での部分実習は成功することができました。今、成功と言いましたが、予想した子どもの姿が見られ、それぞれ子どもに対応することができ、何より子どもたちが興味を持ってくれたり、一緒に楽しんでくれました。しかし、保育所での2週間実習はそうはいきませんでした。友人に助けをもらう時間もないので、シミュレーションもせず部分実習を迎えました。2歳児だったのでストーリー性のあるものよりも見て楽しめる絵本を選びました。私から子どもたちに問いかけても子どもたちの答えを全く予想していなかったため、そのまま受け流す感じになってしまいました。読み終わった後のまとめでも子どもたちの集中力が切れてしまっていてグダグダのまま終わってしまいました。私はその日、とても落ち込みましたが、友人からの励ましのLINEをもらい、前向きな気持ちになれ、その後も自ら「絵本を読ませて下さい」とお願いすることができました。

私は人前で何かをすることが苦手です。それは実習で子どもたちの前に立つ時だけでなく、オープンキャンパスやキャンパスツアーで皆さんの前に立った時も同じです。皆さんの中には、実習とオープンキャンパスには繋がりが無いと思っている方も多いかもかもしれませんが、私はそうではないと思います。私にとって、オープンキャンパス・スタッフのボランティアやこの歓迎の言葉を皆さんに向けて述べているのも、子どもたちとかかわる為の「大事な経験」の1つなのです。また、この経験をより意味のあるものにする為にも、私は友人との繋がりをこれからも大切にしていきたいと強く思います。みなさん一人ひとりの中にも大事にしているもの、直したいと思っていること、伸ばしていきたいと思っていることがきっとあると思います。この2年間でそれぞれ良い方向に持っていけるように日々を過ごし、そして自分が正しいと思う道を突き進んで欲しいと思います。変わることは簡単なことではないかもしれないけれど、自分のペースで少しずつ行動していけば、この2年間はきっと充実したものになると思います。皆さんにとってこの短大生活が意味のあるものになるように、私たち2年生も協力したいと思っていますので、何か困ったことがあった時や何となくお話がしたいと思った時は、気軽に声をかけて下さい。一緒に有意義な学校生活になるように日々取り組んでいきましょう。





年度始め！
ガイ

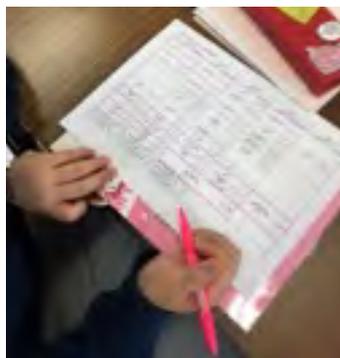


入学式を終え、4月4日（月）と5日（火）には、2年間の学びの入り口として「ガイダンス」がスタートしました。「幼稚園教諭Ⅱ種免許」「保育士資格」を取得するまでの道のりや、授業を「履修する」ということについてや、学校生活を豊かに過ごすための学内施設の使い方や、学友会、サークルの話がありました。

また、5日の午後には、学内を探索する「学内オリエンテーリング」がありました。これから2年間、ここで過ごすこととなります。



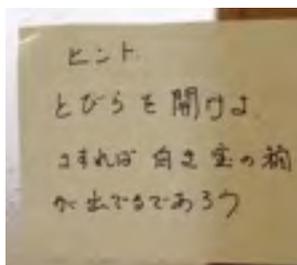
真剣にシラバスを読む



マーカーを引くことも



👉👈 学内をオリエンテーリングでは、皆さんのキラキラした瞳が印象的でした。教員も皆さんが研究室に来ることを楽しんでいました！
👉 キーワードを探すために貼られた学長からのメッセージ。学生たちは学長室をくまなく探すことに…。



ダンス



！2年生！

保育方法演習 「選択」する

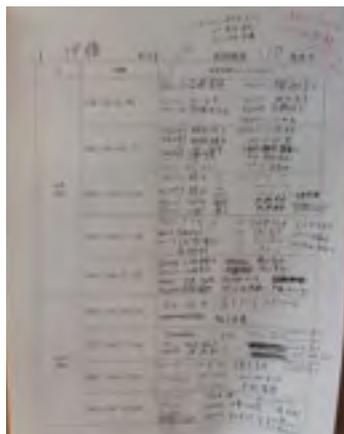


ガイダンスは1年生だけではなく2年生もあります。2年生は、3月31日（木）からのスタートでした。

2年生の4月は、これからの自分の学びを考え、自分で授業を「選択」する時期です。「保育方法演習」（通称：ゼミ）、「フィールドワーク」（通称：わくわく体験研修）、「現代社会論」や「あそび技能演習」など、さまざまな授業で、自分が学びたいコースを選びました。



各コースの説明を真剣に聞く姿...悩み考える姿...



ゼミは各先生の面談表に自分で名前を書き入れました。

TOPICS 明德マップ

明徳のキャンパスライフには、もう慣れましたか？ 先生や職員の方々のお名前や場所、どこに何の教室があるのか、そして明徳周辺に何があるのか、探検して確認してみたいはかが？

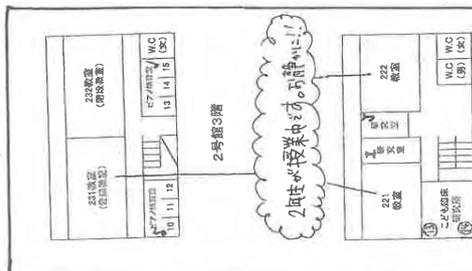
明徳のキャンパス

明徳学内MAP

KEYWORD



2号館

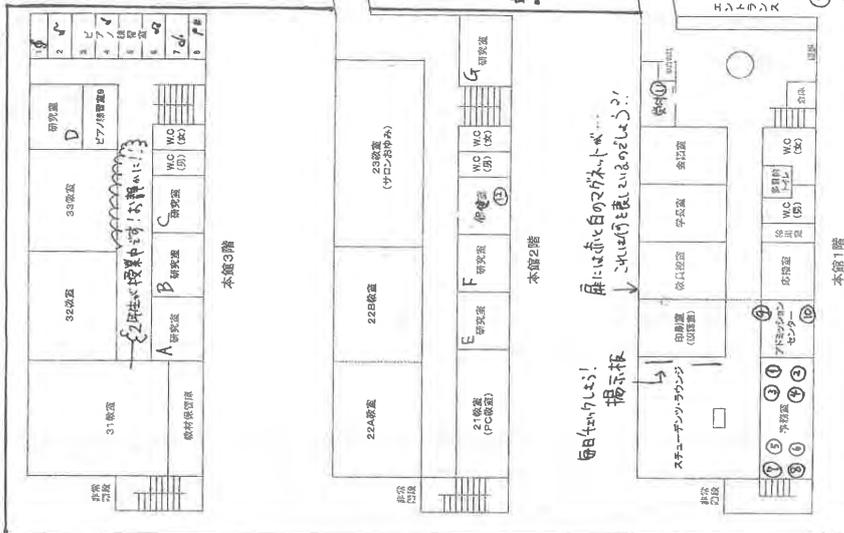


☆学長室の扉は開いていますか？
学長の _____ 先生です。

☆A~Lは教員の研究室です。
扉を叩いてキーカードをもらおう！

- A _____ 先生
- B _____ 先生
- C _____ 先生
- D _____ 先生
- E 姓 _____ 名 _____
- F _____ 先生
- G _____ 先生
- H _____ 先生
- I _____ 先生
- J _____ 先生
- K 姓 _____ 名 _____
- L _____ 先生

本館

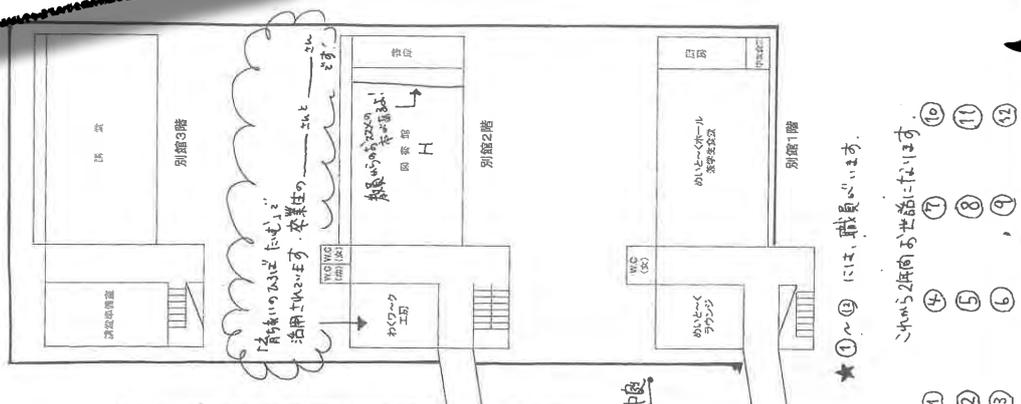


このから2階南側の4つ
の教室をE1003!!

1階南側の3つは
活脚で使います。卒業生の
「おもしろい」を
「おもしろい」を
「おもしろい」を

毎日使います！
掲示板
扉には赤と白のマグネットを
↓
こぼれおとさないように！！

別館



★①~⑩ には、職員います。

① ② ③
④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
このから2階南側の世帯にはいりす

学長室
法人事務室



1年生授業
「あそび基礎演習」
初回合同授業

入学して1週目の4月7日。「あそび基礎演習」の授業で、教員3名と1年生144人全員で、新聞紙を使って遊びました！

この授業は、造形・音楽・身体・言葉の4つの分野から、それぞれのさまざまな遊びを学ぶ授業です。学生の皆さん自身が思い切り遊び、表現する楽しさを味わうことを、まずは大切にしています。通常授業ではそれぞれの分野に分かれています。総合表現とする遊びを学年全体で展開する合同授業も行います。今回のねらいは、「さまざまな人と出会うこと」、「新聞紙という素材を使ったあそびの多様性を味わうこと」。皆さん、「遊べる人」と実感しました！これは当たり前ですが、とても大切なことです。「自ら楽しむこと」、「子どもと共にあそび、その世界観を共有できる」こと。今後も大切にしていってほしい姿勢です。



HOT NEWS

new movement of this month in meitoku

! 明德速報!



「あそび基礎演習」AWARD

EW

現2年生が1年生だった時の授業「あそび基礎演習」は、お一人おひとりに賞を差し上げたいほど、皆さん素晴らしい働きをしていました。そこで、その中でも特に輝いていた方たちに賞をつくりました。2年生になっても、それぞれの良さを大切に、自分を表現し合い、輝いてくださいね!



Best Portfolio 賞: 「あそび基礎演習」

ファイルのまとめが素晴らしかった方へ

▶ 西田綾子さん 錦見陽子さん

Unique Performance/ Work 賞: 独創的でユニークな創作をした方へ

▶ 身体: 小出美穂さん 藤平遼さん

▶ 音楽: 小林英里佳さん

▶ 造形: 諸橋優紀さん

High Quality 賞: 完成度の高い作品を創作した方へ

▶ 身体: 橋本淳さん

▶ 音楽: 情野ひとみさん

▶ 造形: 多田有佳里さん 光山美里さん

Tweet 賞

▶ 伊藤克臣さん 横山有咲さん

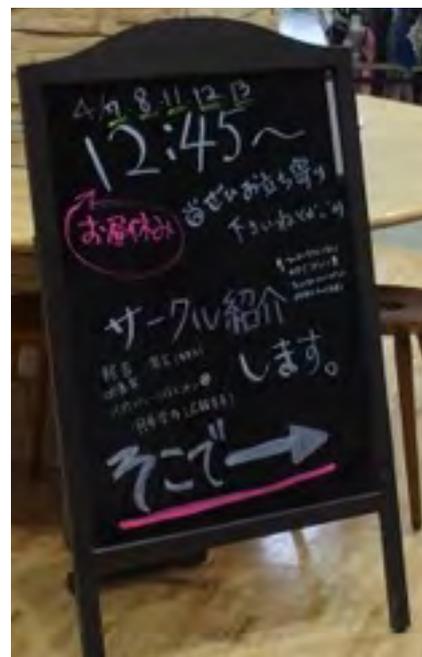
! 「サークル紹介週間」 開かれる!

EW



今年度のサークル長たちと、1年生へのサークル紹介の仕方を話し合ったところ、1週間、各サークルでブースを作り、サークルを紹介する「サークル紹介週間」が行われました!

たくさんの1年生が聞きに足を運び、盛り上がりを見せていました。それぞれのサークルについては、次号でご紹介します!



♪ オープンキャンパス ♪



3月23日（土）、オープンキャンパスを開催しました！

体験授業は「保育者の仕事って何？」でした。高校生には少し難しい内容の授業でしたが、学生スタッフと一緒に、真剣な表情で聞きながら参加していました。新1年生スタッフも短大に慣れてきて、高校生と楽しそうに話をしていました。

次は5月28日（土）です！ 皆さんも、高校生とかかわってみませんか？！（岩井 凜）



スポーツ大会！！ 集まる～♪

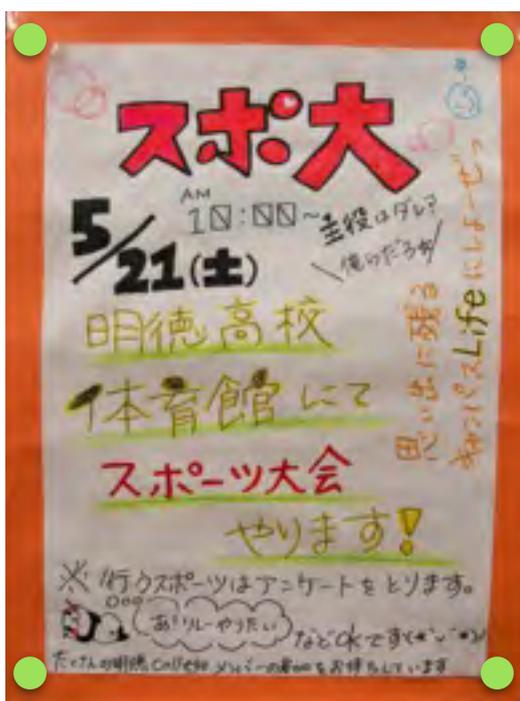


5月21日、待ちに待ったスポーツ大会が開かれます！



2年 卯月 琳

楽しいスポーツ大会にしましょう！
一緒に体を動かして、お互いの
距離を縮めましょう☆
まだまだ参加したい人、
待っています！！





お話ライブ in ユニもちらは台



4月3日（日）、ユニもちらは台で行われた「子連れで働くママのスマイルフェスタ」というイベントに、本学教員の高森と、この春卒業したばかりの45回生2名が参加してきました！

このイベントは、NPO法人ママの働き方応援隊千葉おゆみ野校の主催で行われたものです。そのイベントに、千葉明德短期大学がどのような形で参加したかということ...なんと、千葉県のゆるキャラ・チーバくん！ 実は主催者から、千葉明德短期大学の学生による絵本の読み聞かせをしてほしいという依頼があったのですが、その際、別の時間帯でチーバくんの着ぐるみを着てほしいと頼まれたのでした。

チーバくんの出番は2回で、各回30分ずつ。最初に教員が入り、次に卒業生が入りました。夢を壊してしまうので詳しい構造は秘密ですが、やはり着ぐるみの中は非常に暑く、終わる頃には汗だくに...。けれども、近寄ってくる子どもたちと触れ合ったり、調子に乗ってポーズを決めたり踊ったりするのは、とても楽しかったです。

絵本の読み聞かせは、少し離れたところからでも見えるように、大型絵本を使用しました。おなじみのお話でも、大きな絵本で読むと迫力が違います。手遊びも交えながら、こちらも30分間楽しくお話させていただきました。

今回はチーバくんもありましたが、スターバックスコーヒー千葉おゆみ野店でのお話ライブだけでなく、こういったイベントでも絵本の読み聞かせを頼まれるのは、とても嬉しいことです。今回は卒業生との参加でしたが、次の機会には現役の学生も一緒に参加したいと思いました。



月 歩 学 歩 学 生

今年度も「月歩学歩学生委員」を務めることになりました。1年生ははじめましてになると思います。月歩学歩は、学生の"今"を伝える月刊誌です。主に学生が学んでいることやイベントを伝えています。それだけではありません。皆の周りで話題になっていること、楽しかった話などもじゃんじゃん募集しています。小さなことでもかまいません。たくさんの人に伝えたいことがあったら、私たちに教えてください☆お待ちしております♪



2年 栗山 恵里奈

私が今、好きなことは料理と読書です。趣味は変わります。皆さんが今楽しんでいることも、増えたり変わることがあると思います。皆さんの今を伝えられるような月歩学歩にしていきたいと思います。私自身が昨年以上に楽しみながら、皆さんに楽しんで読んでもらえるように頑張ります。



2年 岩井 凜

今年度も月歩学歩の編集を引き続き行うこととなりました。前年度は途中参加だったので、今年度からは1年間を通して編集に関わりたいと思っています。これまで1年間は、授業に実習にと初めての経験の重なりで、あっという間でした。そしてあと1ヶ月後には3週間の教育実習となりました。あっという間に時間が立つことを実感しています。今、自分にできる準備をして学校生活と月歩学歩の編集に取り組みます！学校生活の様子をたくさん載せたいと思っています!!☆



2年 安部 あすか

学生委員募集中♪





委員 ページ



1年 武田 有結

今年度から「月歩学歩学生委員」を務めさせていただくことになりました。高校では書道部と生徒会、大学ではけいおんと書道サークルに入り、字を書くことが大好きなので、月歩学歩委員に入りました。また、これから記事を書くことを通して、自分自身もこの学校を知り、在学生の皆さんや、これから入ってくる高校生にも、明德のことを知ってほしいです。月歩学歩委員の先輩方や先生方のように、これから、より素晴らしい記事をお届けできればと思います。これからよろしく願いいたします。



2年 鎌田 春華

私が月歩学歩学生委員に入ったのは、サークルも何もしなくて学生生活が終わってしまうのはもったいないかなと思っていた時、月歩学歩の勧誘があり、同級生や先輩、先生にインタビューをしたりすると聞いて、人と話すことが好きな私にぴったりなんじゃないかと思ったからです。それから、インタビューで話した先輩とその後も話をしたり、たまたま同じ実習先の先輩もみつけたりしました。同級生の考えも見えたりして、とてもいい経験になりました。また1年頑張りたいです。

月歩学歩は、明德の学生の皆さんと、委員の2年生4名、1年生1名、教員2名で、現段階は作っています。委員になって、一緒に明德のことを知っていきませんか？

月歩学歩学生委員、または田中・鶴田にお声かけください！お待ちしております！
月1、2回、委員の都合のよい時間に集まって、次回の月歩学歩について話し合しましょう！





今年度のパンフレット
ができました！

編集後記

学校にとって4月は始まりの時に、学生・教職員がそれぞれの始まりを迎えました。自分の目標に向かって2年間頑張ろうと決意する新入生。そんな新入生を支え、一緒になって学生生活を有意義なものにしていきたいと強く思う2年生。授業、サークル活動、学友会行事、実習を通して、学生と向き合う教職員。これからの1年間、学生・教職員の「今」をお伝えしていきます♪ とはいえ、それを新鮮なうちにありのままに記事にしてお伝えできるかどうかは編集委員の腕にかかっていると思います。今年度も惰性に陥らず、学生委員と協力しながら明徳の「今」に敏感になり、一つひとつの作業を丁寧に行っていきたいと思います。また、読者の皆さんに楽しんで読んでいただくためには、内容の充実もさることながら、デザインの向上も必要だと感じています。まずは常識に捉われず、自分自身も楽しみながら編集することを大切にしたいと思います♪ (鶴田 真二)



🌞🌸 春の陽気を皆楽しんでます



明徳の5月

11	水	研修生スクーリング
13	金	教育実習II 事前訪問 (2年生)
20	金	保育体験 (1年生)
21	土	1・2年生合同 スポーツ大会
22	日	障害者スポーツ大会 ボランティア (1年生)
24	火	第●回スタバお話ライブ
28	土	オープンキャンパス

編集：田中 葵 鶴田 真二

- 読者の皆様へ：『月歩学歩』に対するご意見、ご感想を郵便やメールにてお寄せ下さい。



発行：千葉明徳短期大学 千葉市中央区南生実町1412

- Tel:043-265-1613
- Fax:043-265-1627
- mail:tandai@chibameitoku.ac.jp
- web:http://www.chibameitoku.ac.jp/tandai.html
- blog: http://chibameitoku.blog53.fc2.com